



8/1 東京都交響楽団

©T.Tairadate

# 名作交響曲を老舗シェフの誠実なタクトで

行くたびに、いい音楽祭だと思ふ。作曲家に浴衣や法被(はっぴ)を着せるだけでなく、スタッフ全員も青いポロシャツでカジュアルなお祭り気分を演出していて、ここはオーケストラを気楽に楽しんでいい場所だよと感じさせてくれる。この雰囲気なら夏休み中の普段着の子供も連れていこうという気持ちになる。

というわけで、「ブラームスの1番を生で聴いてみたい」という息子を2大交響曲の日に連れていった。U25チケットが2500円というのは本当にありがたい。

前半のモーツァルト40番で、

ステージ真ん中にぎゅっと集まって並んだ都響の響きは弦の柔らかさが主体。ホルンは薄く刷毛を重ねるような効果。そこにフルートなどの木管がチャームに明滅。クラリネットがあるとやはり作曲家晩年の感じが出る。いつもメンバーが都響の特徴として言っている室内楽的なアンサンブルを実感できた。小泉和裕の指揮は、昔ながらの昭和の老舗レストランのシェフのように端正だ。

ブラームス1番は、冒頭の重苦しい開始のところで、ほんのわずかコントラバスがブオッと先に出る感じにまず痺れた。いい

貫禄だ。小泉のタクトは熱を帯びながらも、奇抜に走らず、実直に、彫りの深い音楽を奏でていく。その誠実さに誰しもが好感を持ったに違いない。第4楽章の不安な序奏の後の、素晴らしく息の長いホルンの太陽のような雄大さや、終結部でそれまでオケ全体が秘めていた力をさらにグッと強めた懐の深さも心に残った。

名作交響曲を「初めて聴く」という子供と一緒に聴くのはいいものだ。自分もみずみずしい気持ちで音楽に接することができるから。

(音楽ジャーナリスト・林田直樹)



©T.Tairadate

指揮：小泉和裕

## ご来場者の声

ミュージア川崎に初めて来ました。しかもヴィンヤードホール初体験です。ステージと客席がとても近いんですね。都響さんからは、いつも最高の感動を頂いていますが今回のブラ1、特に感動しました。本当にありがとうございました。(50代・パート・hiromin) / 小泉和裕 × 都響の奇をてらわれない真つぎな演奏が「作曲家が真に求める音」の抽出に成功していたと感じて最高の演奏でした。まさに「ザ・王道」(40代・ドラムプレイヤー・らむ〜ど) / マエストロ小泉と都響の演奏に、胸が熱くなりました。コンサートマスターの水谷さんのソロもとても素敵で感動もひとしおでした。佐渡から来て良かったです。ありがとうございました。(40代・公務員・ハーモニー) / 小泉さん、都響の演奏を聞きたくて、少し遠いですが、ミュージアまで聞きに来ました。とても気持ちが入った演奏でとても良かったです。終演後、オーケストラの皆さんが引けた後も拍手鳴り止まず、小泉さんがステージに。(60代・匿名) / すばらしかった！昨日とはちがった曲目・内容で逆にとっても楽しめました。(中略)ヴァイオリン一団の一体感、迫力がすごかった。音の力強さを感じました。他の演奏も聴きに行きます。(60代・無職・ヒゲクマ)

## フェスタサマ-ミュザ KAWASAKI 2024 明日の公演情報

### 当日券あり 浜松国際管楽器アカデミー&フェスティバル

### ワールドドリーム・ウィンドオーケストラ

浜松からの黒船！？ 国内外のトッププレイヤー、吹奏楽で夢の共演！

ミュージア川崎シンフォニーホール

8.3(土) 13:30開演

指揮：原田慶太楼

三善晃：吹奏楽のための『クロス・バイ マーチ』

酒井 格：たなばた

ワグナー(カイト工編)：エルザの大聖堂への行列

他

全席指定 ¥4,000 U25 ¥1,500

TEL・WEB予約：当日11:30まで  
当日券カウンター12:30より

抽選会など  
お楽しみイベント！



詳しくはこちら

プレコンサート 12:50~  
サクソフォンアンサンブル

須川展也、ジャン・イヴ・フォルモ  
住谷美帆、渡辺江史朗、西尾貴浩

### 当日券あり 真夏のバッハ IX

バッハの聖地から若き天才が降臨

ミュージア川崎シンフォニーホール

8.3(土) 19:00開演

パイプオルガン：ヨハネス・ラング

J.S. バッハ：前奏曲 変ホ長調 BWV552/1

レーガー：『12の小品』から 第7番

J.S. バッハ：我らの救い主なるイエス・キリスト

J.S. バッハ：フーガ 変ホ長調 BWV552/2 他

全席指定 ¥4,000 U25 ¥1,500

TEL・WEB予約：当日17:00まで

当日券カウンター18:00より

ラングさんの演奏&メッセージ▶▶▶



### 当日券あり 出張サマ-ミュザ@しんがり!

### 東京交響楽団

華麗なるバレエ音楽の祭典

昭和音楽大学 テアトロ・ジューリオ・シヨウワ

8.3(土) 15:00開演

指揮：秋山和慶 ピアノ：田久保萌夏\*

グリーグ：ピアノ協奏曲\*

チャイコフスキー：

バレエ音楽『眠りの森の美女』組曲から

バレエ音楽『くるみ割り人形』組曲から

バレエ音楽『白鳥の湖』組曲から 他

¥5,000 A ¥4,000

B ¥3,000 U25:各席種半額

TEL・WEB予約：8/2までの販売  
当日券カウンター14:00より



MUZA's Recommend

# 井上道義、「最後」にして最愛のオペラ「ラ・ボエーム」

「ラ・ボエーム」は、パリの学生街カルチュ・ラタンを舞台とした、プッチーニの代表作ともいえるオペラです。若き芸術家たちの青春を描いた本作について、井上道義マエストロは「最愛のオペラ」と公言しており、その愛はカルチュ・ラタンのアパートを自ら10年にわたって所有していたほど。演出は、2019年「ドン・ジョヴァンニ」などにつづく井上マエストロとの協働となる舞踊家・演出家の森山開次。今回は振付、美術、衣裳まですべて手掛け、さらには、メインビジュアルのイラストを描くという多才ぶ

りを発揮。井上マエストロとの対談や記者会見の様子からは、互いの深い信頼関係がうかがえます。

歌手陣には、井上道義みずからオーディションで選び抜いた国内外の実力派がそろいました。

全国共同制作オペラ「ラ・ボエーム」は日本国内7都市をめぐる、千穂楽となる川崎公演が井上マエストロにとって正真正銘最後のオペラとなります。今秋の最注目公演になる事は間違いありません。(事業・ご)



指揮 井上道義



演出/振付/美術/衣裳 森山開次



## 全国共同制作オペラ

### プッチーニ：歌劇「ラ・ボエーム」

# 11.2 (土) 14:00開演

(全4幕/イタリア語上演/日本語・英語字幕付き/新制作)

**S,A,C:完売/B¥12,000**  
**U25:各席種半額**

残席僅少

サマーミュージザ全公演  
ドリンクコーナー営業中

## 全国共同制作オペラ ラ・ボエーム関連コンテンツ

特設サイト



特設サイトから各コンテンツをご覧いただけます！

対談記事 (特設サイト)



井上道義×森山開次 対談記事公開中！

YouTube Channel



出演者からのメッセージ動画など公開中！



パートナーショップのご紹介  
**エンジョイ! 川崎!!**  
Enjoy Kawasaki



## 「気分のアがる、パンダ印のアメリカン・チャイニーズ」

暑いときに食欲がなくなる…そんなことならもうすこしスリムな体系だったのかもしれませんが、残念ながら「夏バテ」とは無縁の体質。パテるまえに食べる！が信条、忙しい時ほどこってりしたものが食べたくてしまいます。というわけで今日はラゾーナ1Fのフードコート内「PANDA EXPRESS」へ。中華は中華でも本店はアメリカ、しかも店名のとおり、超特急で出てくるファストフード仕様が売りのお店です。

ベース(主食)とメイン(おかず)を選んで組み合わせられます。今日はカロリーを気にしてベースをMIXベジタブルに…と思ったら店員さんが「ベースはハーフ&ハーフもできますよ」と言って下さるではないですか…。悪魔のささやきに負け、チャオメン(炒麺)も入れてもらいました。メインのハニーウォールナッツシュリンプはぷりぷりのエビ

と衣のサクサクととまらないおいしさ! ナッツの食感も◎です。ごちそうさまでした、のあとはオマケのフォーチュンクッキーをパカッと。おや、これは…なんだかちょっと嬉しくなってミュージザへ戻りました。

忙しい時はテイクアウトも可能! 超速チャイニーズ、一度おためしあれ。(これでも減量中・U)



ポウル(ベース1、メイン1)  
(税抜1,320円)

PANDA EXPRESS

B ラゾーナ川崎プラザ

パートナーショップ特典

飲食代15%引き ※「優待券」持参者のみ



フォーチュンクッキーのおみくじ

フェスタサマーミュージザ公式サイト  
<https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/>

#サマーミュージザ  
#ミュージザ20周年  
で検索&投稿  
お待ちしております!



X: @summer\_muza  
Facebook: @kawasaki.sym.hall  
Instagram: @muzakawasaki  
Youtube: @kawasakisymhall



そうこうしているうちに、サマーミュージザ本番がやってきました。昨年と違い、今年はミュージザの夏の熱気を体中に浴びています。楽しみ半分、不安半分。否、まだ不安が勝ってしまう未熟者ですが、お客様の夏を素敵に彩ることができるよう、精一杯努めさせていただきます。(チケットセンター M.T.)

そして2024年、ホール開館20周年という節目のサマーミュージザです。「この発売日より忙しい」と、先輩方が口を揃えるチケット発売日から私の夏は始まりました。回線開通と共に鳴り響くベルの音。受話器を置いた瞬間にはもう次のベルが……。息をつく間も無い慌ただしさでしたが、弾んだ声で「楽しみ!」と伝えてくださるお客様も多く、嬉しく思う反面、期待にお応えしなければと身が引き締まる思いでした。

避ること一年前のサマーミュージザ。入社して日が浅かった私は、その賑わいを何処か遠くに感じていました。自身の業務に動しんではおりましたが、やはり熱気の渦中からは少し離れたところにいたのです。

## スタッフ日誌